

## 開山忌並びに 第二十九回育英会辞令交付式

善光寺開山忌、並びに第二十九回の横浜善光寺留学僧育英会辞令交付式が平成二十八年二月十二日午後二時から、釈迦殿で執り行われ、育英生に採用された中国からの留学生、花菜さん(34)に、育英会理事長の黒田博志住職から辞令、育英金と記念品が授与されました。

初めに開山・棟庵白純大和尚と二世中興大圓武志大和尚の追善法要が本寺の大田原市・光真寺ご住職、黒田泰弘老師を焼香師にお迎えして営まれ、関係のご寺院、総代をはじめ檀信徒の方々が読経・焼香しました。

引き続き辞令交付式に移り、育英会理事の安

藤嘉則老師(駒沢女子大学教授)が選定経過を報告しました。内モンゴル出身の花さんは、平成十五年に同朋大学に入学し、昨年三月に博士号を取得。近年はモンゴルにおける女性の信仰などについて研究しています。

安藤理事は「日本に来て様々な言語を学ぶうちにモンゴル人にとつての仏教とは何かということに目覚めた。今後も日本で研鑽したものを世界に発信してほしい」と激励しました。

黒田住職の導師により育英会報告諷経が営まれ、辞令交付の後、花さんは「仏教の知識はまだ浅いが、これからも精一杯努力していきたい」と決意を込めて感謝の言葉を述べました。

開山忌の焼香師を務めた光真寺の黒田泰弘老師は「今年には先住様の十三回忌正當の年。皆さんが力を合わせて世界平和に向けて活動されている姿はまことに麗しい」と善光寺のさらなる発展を願い、益々の活躍に期待を寄せました。



辞令と記念品を手に 花栄さん



黒田住職は「私も師匠の『尽くして、尽くして、尽くし抜け』の言葉を胸に日々精進している最中です。世のため世界平和のために役立てるよう邁進して参ります」と挨拶した。